

第1学年 国語科学習指導案

日時 平成22年 9月 9日(木) 4校時
 児童 男子 7名 女子 7名 計14名
 指導者 小石 美和子

- 1 単元名 くらべて よもう
- 2 教材名 じどう車くらべ (光村図書1年上)

読む目的：◎自動車の「しごと」と「つくり」の関係を考えながら読み、じどう車図鑑といれもの図鑑を作ろう。

主たる言語活動：
 ・じどう車や日常生活のものについて「しごと (はたらき)」と「つくり」を説明する文を書く。 【活用1】

活用に結びつく基礎・基本
 ・3種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読む。[指導事項イ]
 ・教材文を参考にして、簡単な組み立てを考えて自分が選んだものを説明する文を書く。 [指導事項ウ]

3 研究主題にせまるための授業改善に関わる提案

(1) 視点1に関わって

書かれていることの大体を読み取り、表現の仕方を理解できるように繰り返し音読する。

いろいろな読み方(教師との掛け合い、列やグループによる分担など)で音読させ、「問い」と「答え」の関係に気づかせるとともに、「答え」の部分が「しごと」と「つくり」の2つのまとまりになっていることに着目させたい。

(2) 視点2に関わって

説明文を書くためのワークシートの工夫。

段階のあるワークシートを用いて、少しずつ自分の力でまとめられるようにしていく。

4 単元の目標

(1) 単元の目標

◎自動車の仕事と作りの関係に興味をもって読み、他の物でも説明文を書けるようになる。

(2) 単元の評価規準

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	説明したい物を選び、説明文を書こうとしている。
書くこと	興味をもった物の「はたらき」と「つくり」について説明カードに書いている。
読むこと	3種類の自動車について「しごと」と「つくり」の関係を考えながら読んでいる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	「そのために」という言葉を押さえ、敬体で文章を書いている。 片仮名を正しく読んだり、書いたりしている。
改善の視点1	書かれていることの大体を読み取り、音読ができています。
改善の視点2	興味のある物の、「はたらき」と「つくり」を考えて、分けて説明を説明カードにまとめている。
振り返り	①「しごと」と「つくり」を意識して音読できたか。 ②「しごと (はたらき)」と「つくり」に分けて、文章に書けたか。 ③楽しく学べたか。

5 指導と評価の計画（指導時数 1 2 時間）

段階	時間	おもな学習活動	教師の工夫
一次 つ か む	2	<p>1 学習のめあてを知り、見通しをもつ。</p> <p>(1) ・自動車に関心を持って教科書を最後まで読む。 ・学習計画を立てる。 ・第一のまとまりから話題と問題提起を見つける。</p> <p>(2) ・「じどう車図鑑」を作ることを知り、作り方を理解する。 ・新出漢字、片仮名の練習をする。</p>	<p>☆自動車の絵本や図鑑を教室に置いておく。</p> <p>・学習のめあてを明確にし、具体的な言語活動を通して学習を進める。 ・表現の仕方を理解させるため、繰り返し音読をさせる。 ・自動車の「しごと」と「つくり」が書かれていることをとらえさせる。</p> <p>・自動車図鑑とはどういうものなのか他の図鑑を提示して理解を深め、表現活動に生かす。</p>
二次 た し か め る 活用	6 習得	<p>2 自動車の「しごと」と「つくり」を読み取り、説明カードにまとめる。</p> <p>(1) バスと乗用車の「しごと」と「つくり」について読み取る。(視写)</p> <p>(2) トラックの「しごと」と「つくり」について読み取る。(視写)</p> <p>(3) クレーン車の「しごと」と「つくり」について読み取る。(視写)</p> <p>(4) 消防自動車（はしご車、ポンプ車）、救急車の「しごと」と「つくり」について資料や挿絵から読み取る。</p> <p>(5) 表紙と目次を作り、今まで学習してきた説明カードを合わせて、「じどう車図鑑」を完成させる。〔2時間〕</p>	<p>・表現の仕方が理解できるように繰り返し音読をさせる。(視点1)</p> <p>・それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を読み取り、視写することで文章構成に気づかせる。</p> <p>・ワークシートは段階のあるものを使用して少しずつ自分の力でまとめられるようにしていく。(視点2)</p> <p>①文章に合わせたマス目入り(分ち書き)ワークシート ②文章に合わせたマス目入りワークシート ③10マスワークシート</p> <p>・前時までの学習資料を整理した物を掲示する。</p>
三次 ま と め る	4 活用 本時	<p>3 「いれもの図鑑」を作ろう。</p> <p>(1) 文体を学ぶ。 ・教科書の文と絵本袋の説明文を比較し、「しごと」と「はたらき」が同じ押さえであることを理解する。</p> <p>(2) 様々な入れ物から1つ選び、「はたらき」と「つくり」を説明カードに書く。</p> <p>(3) できた説明カードを紹介し合う。</p> <p>(4) 「いれもの図鑑」を作る。 ・単元の振り返りをする。</p>	<p>・教科書の文と絵本袋の説明文を比較できるように提示する。</p> <p>・実物の入れ物を用意し、実際さわらせてみる。</p> <p>・友達と自分の説明カードを読んで比べさせる。</p> <p>・子どもたち全てのカードを合わせることで全員でがんばったという達成感を持たせる。</p>

6 本時の指導

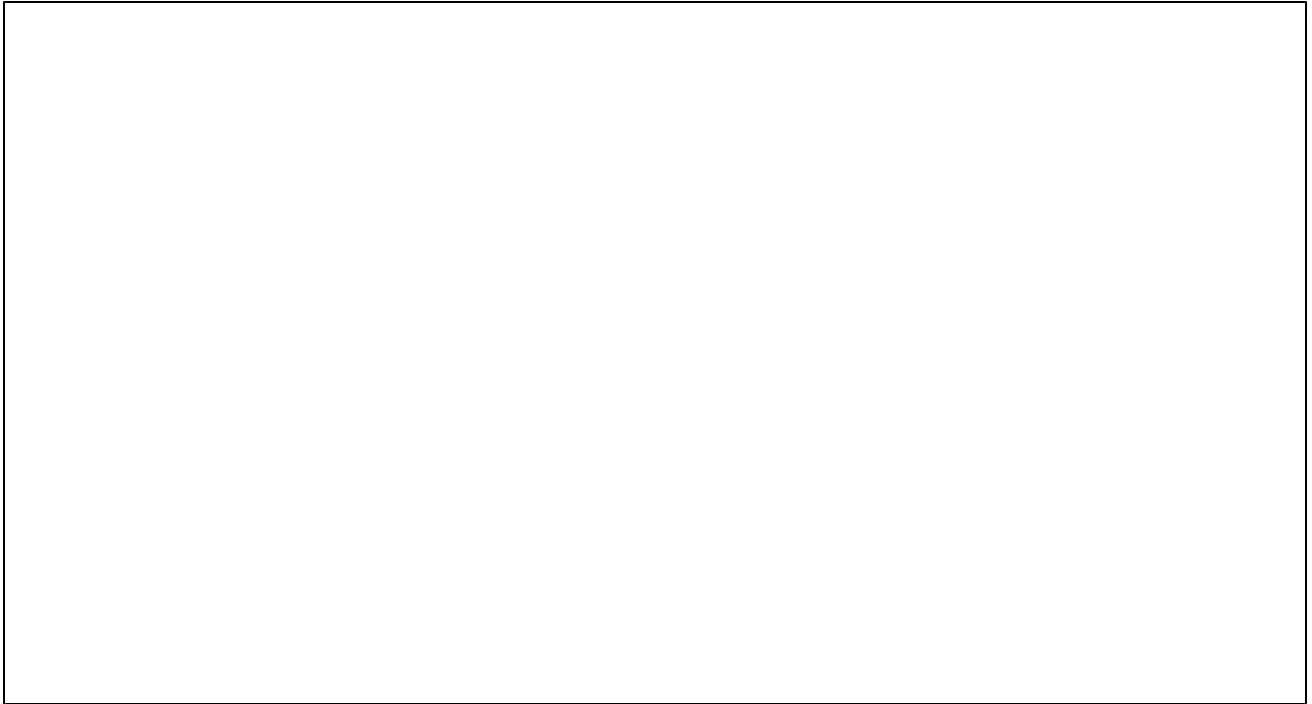
(1) 本時の目標

【書くこと】 様々な入れ物から1つ選び、自分でその入れ物の「はたらき」と「つくり」を説明カードに書くことができる。

(2) 展 開

段階	学習内容とおもな活動	・ 教師の支援 視点に関わる工夫 評 評価
つかむ 3分	1 前時までの学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 えらんだ入れものの「はたらき」と「しごと」をまとめよう。	・ 前時に提示した例文を掲示し、3つのポイント「はたらき」「つくり」「そのために」を再度確認する。
たしかめ 3分 5分	3 3つのポイント（はたらき、つくり、しごと）を確認するための音読をする。 4 様々な入れ物を実際さわってみる。 例 ・ポシェット ・ランドセル ・エコバック ・お道具箱 ・旅行かばん ・クーラーボックス 5 自分が説明したい物を選び、説明文を書く。 (1) 説明文を書く (2) 先生に見せる ・ 3つのポイントが書いてあるかたしかめるため。 (3) 微音読をする	・ 「はたらき」と「つくり」のまとまりを理解するために、指名音読や役割音読をさせる。 ・ 見たことがあるか、どんな時に使うか簡単に聞き、興味を持たせる。 視点2に関わる主な支援 「はたらき」と「つくり」を考えさせて、説明カードに書かせる。 評 〈おおむね満足できる状況B〉 自分が選んだ物を「はたらき」と「つくり」に分けて説明文を書いている。 ○Cの子への支援 同じ物を選んだ子と相談させたりヒントをもらったりして、説明文が書けるようにする。 ・ 書き終わった子には、その文章をしっかり読めるように音読させる。(微音読) その後、絵を描かせ、色を塗らせる。
まとめ 7分	6 自分が選んだ入れ物の説明文を紹介したり、友達の説明文を聞いたりする。 7 学習を振り返る	・ 何人かを指名し、書き上げた説明カードを大きな声で発表できるよう声を掛ける。 ・ 聞き手の子には、学習してきたような説明文の書き方になっているか、考えながら聞くように話す。 ・ 今日の学習のがんばりをマークで評価させる。

7 板書（簡略化）



入れ物説明カードの例文

